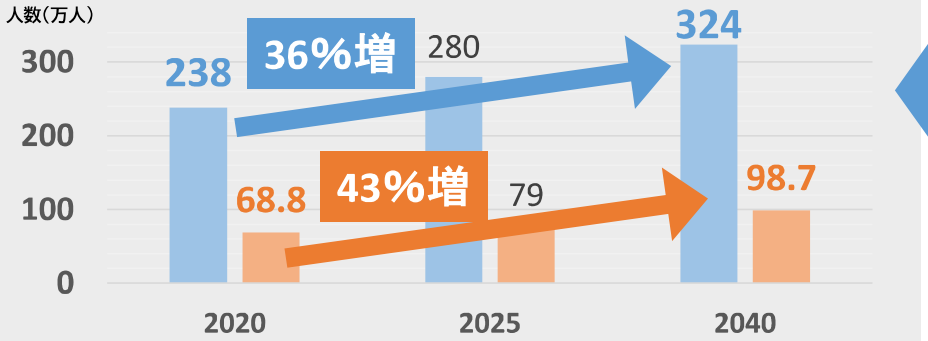
提案の背景①　医療DXの必要性

神奈川県資料

提案の背景　日本では、超高齢化社会の到来により・・・

高齢者の救急医療搬送や在宅医療需要が増加

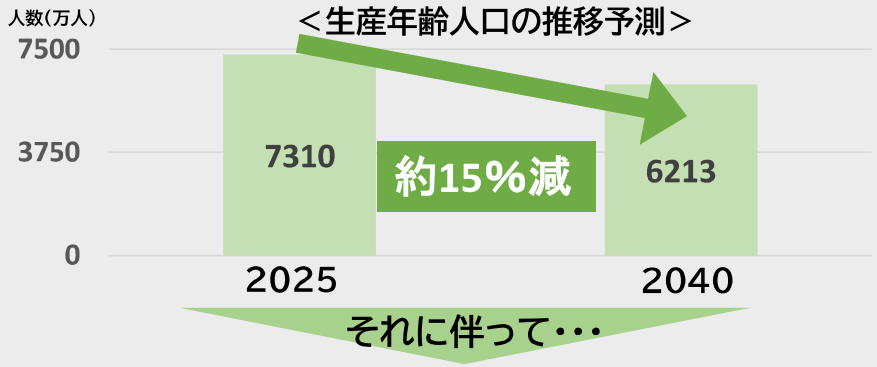
＜75歳以上の救急医療搬送・在宅医療需要の推移予測＞



「第8回新たな地域医療構想等に関する検討会(厚生労働省)」抜粋・加工

一方

今後、生産年齢人口は減少していく



医療従事者の確保が更に困難に

「日本の将来推計人口令和5年推計(国立社会保障・人口問題研究所)」抜粋・加工

地域の医療提供体制の維持・確保に向けて、医療DXによる従事者の負担軽減が必要！

国の「医療DX推進本部」（本部長：内閣総理大臣）

サービスの効率化・質の向上に資する**医療DXの活用を検討**

⇒医療機関におけるデジタルツール活用・情報連携が進展している

提案の背景②　医療DXの進展による危険性

神奈川県資料

近年

医療DXが進展しつつある一方、
サイバー攻撃の件数は増加傾向

本県でも・・・

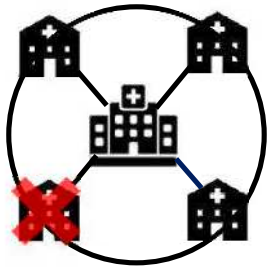
約370床を有し、救命救急センターでもある病院

令和8年1月、サイバー攻撃により・・

- **約13万人**の個人情報漏洩
- **ナースコールの停止**

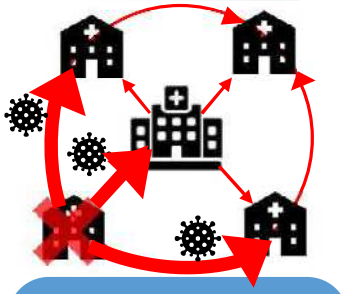
首都圏においても、サイバー攻撃によるセキュリティリスクが高まっている！

デジタル情報連携が進む医療機関においては・・・



拠点被害

1つの医療機関が攻撃を受ける



被害の広域波及

ネットワークを介して、
連携医療機関等に波及



地域の医療機能低下

ネットワーク復旧までの間、
地域全体の医療機能が低下

サイバー攻撃による地域の医療機能低下を防ぐために、
医療機関のセキュリティ強化が喫緊の課題となっている！

現状と課題①　国の支援策の限界

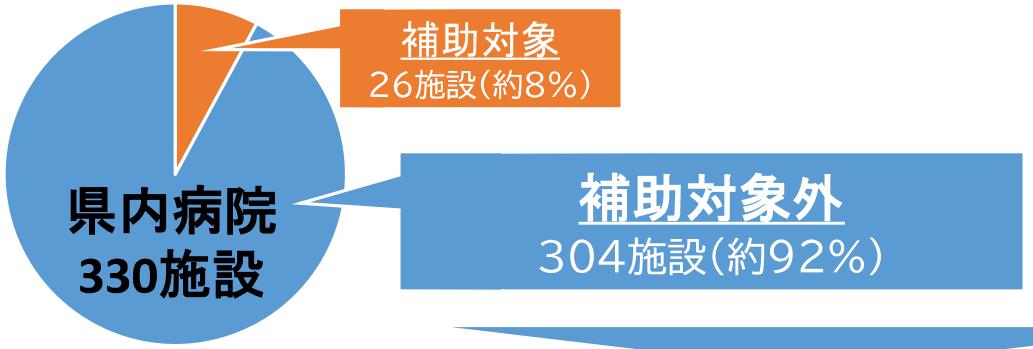
神奈川県資料

国では、医療機関のセキュリティの強化に向けて・・・

医療機関におけるサイバーセキュリティ確保事業

令和6年度に事業が始まり、今年度からは補助対象が一部拡充されたが、

＜R7年度の神奈川県内実績＞



予算額の制約等により補助を受けられる病院が限定的な状況

支援が届かない中小病院や診療所は、いわゆる「セキュリティホール」となる危険性が高まっている



医療圏の防衛網を一体的に強化していくため、**全ての医療機関が十分なサイバーセキュリティを確保できる財政支援の充実が必要！**

現状と課題②　AIによる脅威の進化

神奈川県資料

近年　AI技術が進展・普及し・・・

AIを悪用したサイバー攻撃が
「自動化」・「高速化」する懸念

医療機関においても、
AI技術を用いたサイバー脅威への
対応が求められている！



しかし・・・

総務省
『令和8年版情報通信白書』

高度サイバーセキュリティ人材は質的・量的に不足

個々の医療機関が人材の確保・育成を行うことは困難

AI技術の進展・普及に伴うサイバー脅威の増大に対応するため、
国主体の包括的なサイバーセキュリティ対策が必要！



提案内容

神奈川県資料

1　全ての医療機関において、十分なサイバーセキュリティを確保することができるよう、「医療機関におけるサイバーセキュリティ確保事業」における財政支援の充実を図ること。

2　全ての医療機関がAI技術の進展・普及に伴うサイバー脅威の急速な増大に対応できるよう、AIを悪用したサイバー攻撃への対策強化に向けた取組について、国が主体となり迅速に推進すること。